DLP®方式プロジェクター　PT-D4000

■機器仕様

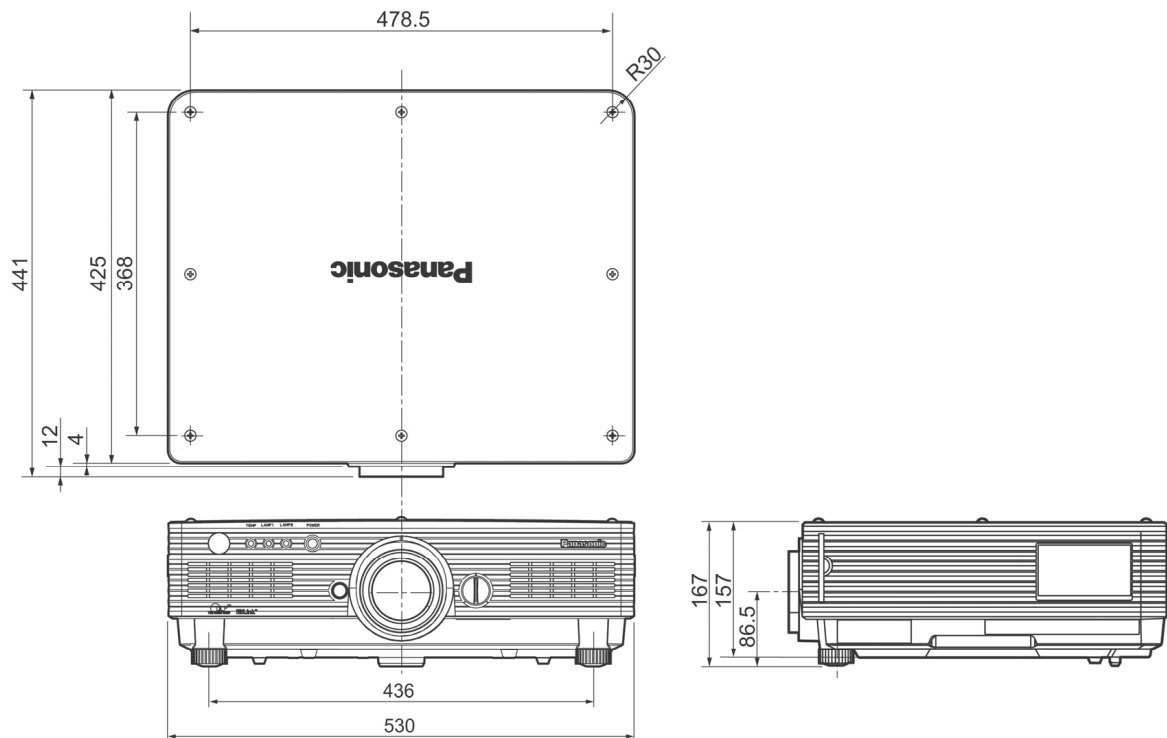
本機は、0.7 型DLP®チップを採用した１チップDLP®方式プロジェクターです。
ビデオ映像はもちろんUXGAサイズ(1600 ドット×1200 ドット)※までのデータ画像が投写可能です。
※ UXGAサイズ(1600 ドット×1200 ドット)入力時は、画像圧縮表示処理により(1024 ドット×768 ドット)に変換します。

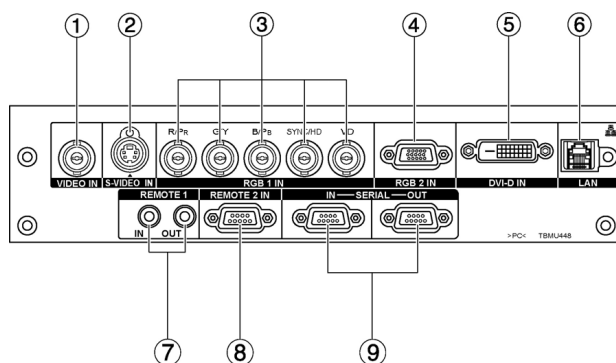
■機器仕様 (仕様および外観は、性能向上その他により予告なく変更することがあります。)

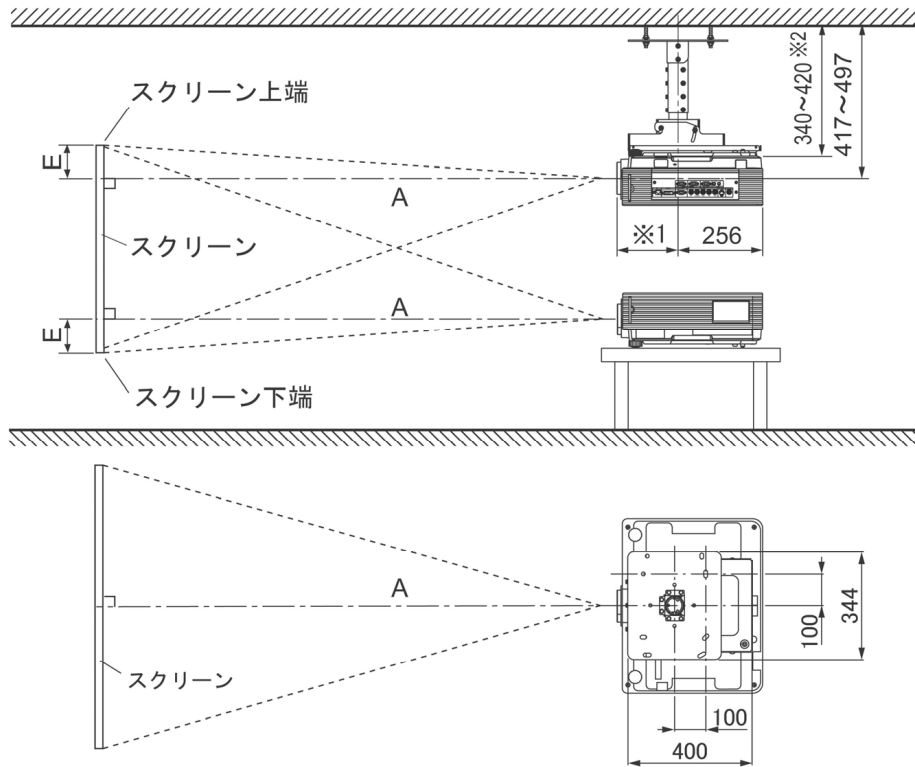
項目	仕様
使用電源	AC100 V　50 Hz／60 Hz
消費電力	540 W〔540 VA〕(スタンバイ時 10 W　但し、ファン停止時)
DLP®チップ	素子サイズ　:0.7 型(アスペクト比 4:3) 表示方式　:DLP®ﾁｯﾌﾟ 1 枚　DLP®方式 画　素　数　:786432 画素(1024ドット×768ドット)
レンズ	電動ズーム(1.8～2.4:1)・電動フォーカスレンズ F=1.7～2.0　f=25.6 mm～33.8 mm
光源ランプ	210 W　UHM ランプ×2 灯
投写画面サイズ	50 型～600 型(ｱｽﾍﾟｸﾄ比 4:3 時)　※ET-DLE050 使用時は 50 型～200 型(ｱｽﾍﾟｸﾄ比 4:3 時)
光出力 *	4000 lm〔ランプ 2 灯、ハイモード時〕
周辺光量比 *	90 %
コントラスト比 *	1600:1(全白／全黒)〔ｺﾝﾄﾗｽﾄﾓｰﾄﾞﾊｲ時:光出力は 2000 lm になります。〕 800:1(全白／全黒)〔ｺﾝﾄﾗｽﾄﾓｰﾄﾞﾉｰﾏﾙ時〕
解像度	1024 ドット×768 ドット(入力信号の解像度が 1024 ﾄﾞｯﾄ×768 ﾄﾞｯﾄを超える時は圧縮表示)
対応走査周波数	RGB 信号入力時:(水平) 15kHz～91kHz　(垂直) 50Hz～85Hz　(ﾄﾞｯﾄｸﾛｯｸ) 150 MHz 以下 Y･PB(CB)･PR(CB) 入力信号: (水平) 15.75 kHz　(垂直) 60 Hz　〔525i(480i)〕、 (水平) 15.63 kHz　(垂直) 50 Hz　〔625i(576i)〕、 (水平) 31.50 kHz　(垂直) 60 Hz　〔525p(480p)〕、 (水平) 31.25 kHz　(垂直) 50 Hz　〔625p(576p)〕、 (水平) 45.00 kHz　(垂直) 60 Hz　〔750(720)/60p〕、 (水平) 37.50 kHz　(垂直) 50 Hz　〔750(720)/50p〕、 (水平) 33.75 kHz　(垂直) 60 Hz　〔1035/60i〕、 (水平) 33.75 kHz　(垂直) 60 Hz　〔1125(1080)/60i〕、 (水平) 28.13 kHz　(垂直) 50 Hz　〔1125(1080)/50i〕、 (水平) 67.50 kHz　(垂直) 60 Hz　〔1080/60p〕、 (水平) 56.25 kHz　(垂直) 50 Hz　〔1080/50p〕 ビデオ／S ビデオ信号入力時:(水平) 15.75kHz /15.63kHz　(垂直)50 Hz/60 Hz 〔NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL60/PAL-N/PAL-M/SECAM〕
光軸シフト	<上下>スクリーンセンターより＋50 %(電動)、<左右>スクリーンセンターより±10 %(手動)
台形歪補正角度	垂直:最大±30°
投写方式	フロント天つり／フロント床置き／リア天つり／リア床置き
接続端子	DVI-D 入力端子(DVI-D 24P)　1 系統　DVI 1.0 準拠　HDCP 対応　※ｼﾝｸﾞﾙﾘﾝｸのみ対応 RGB1入力端子(BNC×5)　1 系統 〔RGB 入力時〕　R:0.7 V[p-p] 75 Ω G:0.7 V[p-p] (但し、SYNC ON G 信号時は 1.0 V[p-p]) 75 Ω B:0.7 V[p-p] 75 Ω HD･VD/SYNC:1.4 V～5 V[p-p] 正極性/負極性　75 Ω 〔Y･P_B･P_R入力時〕 Y:1.0 V[p-p](同期信号を含む) P_B･P_R:0.7 V[p-p] 75 Ω RGB2入力端子 (高密度 D-Sub 15P･メス型)　1 系統 〔RGB 入力時〕　R:0.7 V[p-p] 75 Ω G:0.7 V[p-p] (但し、SYNC ON G 信号時は 1.0 V[p-p]) 75 Ω B:0.7 V[p-p] 75 Ω HD･VD/SYNC:1.4 V～5 V[p-p] 正極性/負極性　75Ω ※3 値 SYNC には対応していません。 〔Y･P_B･P_R入力時〕 Y:1.0 V[p-p](同期信号を含む) P_B･P_R:0.7 V[p-p] 75Ω ビデオ入力端子(BNC)　1 系統　1.0 V[p-p] 75 Ω S ビデオ入力端子(Mini DIN 4P)　1 系統　Y:1.0 V[p-p]　C:0.286 V[p-p] 75 Ω シリアル入力端子(D-Sub 9P･メス型) 1 系統　外部制御用(RS-232C 準拠) シリアル出力端子(D-Sub 9P･オス型) 1 系統　連結制御用 リモート1入出力端子(M3 ジャック)　各1系統　ワイヤードリモコン、連結制御用 リモート2入力端子(D-Sub 9P･メス型)　1系統　外部制御用(パラレル) LAN端子(RJ-45)　1系統　ネットワーク接続用　10Base-T/100Base-TX　PJLink™対応
電源コードの長さ	3.0 m
キャビネット	樹脂成型品
外形寸法	横幅 530 mm　高さ 167 mm(脚最小時)　奥行 441 mm (標準レンズを含む)
質量	13.7 kg (標準レンズを含む)
環境条件	使用周囲温度:0 ℃～45 ℃ 使用周囲湿度:20 %～80 %(非結露)
リモコン	使用電源:DC 3 V(単 3 形乾電池2個) 操作距離:約 30 m(受光部正面) 外形寸法:横幅 51 mm　高さ 176 mm　奥行 23 mm 質量:134 g(乾電池含む)

＊出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911:2003 データプロジェクタの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については附属書 2 に基づいています。

付属品　●電源コード･･･1本
●ワイヤレス／ワイヤードリモコン･･･1個
●単3形乾電池･･･2個
●落下防止用ワイヤーロープ･･･1式
別売品　●ズームレンズ〔1.3～1.8:1用〕(ET-DLE100)
●ズームレンズ〔2.4～4.0:1用〕(ET-DLE200)
●ズームレンズ〔3.4～4.4:1用〕(ET-DLE310)
●ズームレンズ〔4.5～8.4:1用〕(ET-DLE410)
●固定焦点レンズ〔0.8:1用〕(ET-DLE050)
●ズームレンズ〔1.3～2.0:1用〕(ET-DLE150)
●ズームレンズ〔2.4～3.7:1用〕(ET-DLE250)
●ズームレンズ〔3.7～5.6:1用〕(ET-DLE350)
●ズームレンズ〔5.5～8.9:1用〕(ET-DLE450)
●固定焦点レンズ〔0.8:1用〕(ET-DLE055)
●天つり金具〔高天井用〕(ET-PKD56H)
●天つり金具〔低天井用〕(ET-PKD55S)

■外形寸法図

(注)この図面は正確な縮尺ではありません。　(単位：mm)

＜側面端子部＞

1	ビデオ入力端子
2	S ビデオ入力端子
3	RGB１入力端子
4	RGB２入力端子
5	DVI-D 入力端子
6	LAN 端子
7	リモート１入出力端子
8	リモート２入力端子
9	シリアル入出力端子

■投写関係寸法図

別売品の天つり金具
(ET-PKD56H)装着時

※1　レンズ最大飛び出し時
標準レンズ装着時 = 185 mm
ET-DLE100 装着時= 209 mm
ET-DLE200 装着時= 208 mm
ET-DLE310 装着時= 220 mm
ET-DLE410 装着時= 209 mm
ET-DLE050 装着時= 177 mm
ET-DLE150 装着時= 212 mm
ET-DLE250 装着時= 213 mm
ET-DLE350 装着時= 219 mm
ET-DLE450 装着時= 263 mm
ET-DLE055 装着時= 195 mm
※2　40 mm ピッチで可変

A
100
344
スクリーン
100
400

別売品の天つり金具
(ET-PKD56H)装着時

（注）この図面は正確な縮尺ではありません。　　（単位：mm）

お願い ●工事にあたっては専門技術者が行ってください。
●天つり設置する場合は、専用の取り付け金具をご使用ください。
またゆれ防止/落下防止の為、プロジェクターに付属のワイヤーを、天つり金具と天井の間に張って頂く様お願いします。

■投写レンズごとの投写距離

○画面アスペクト比 4:3 時(ET-DLE100/DLE200/DLE310/DLE410/DLE050 の場合)　　（単位:mm）

投写画面サイズ（型）	投写距離(A)〔スクリーン～レンズ先端まで〕									設置可能な高さ範囲(E)〔スクリーン端～レンズセンターまで〕	
	ズームレンズ								固定焦点レンズ	ズームレンズ	固定焦点レンズ
	ET-DLE100 装着時		ET-DLE200 装着時		ET-DLE310 装着時		ET-DLE410 装着時		ET-DLE050 装着時		
	最短	最長	最短	最長	最短	最長	最短	最長			
50	1335	1812	2454	4044	3379	4444	4493	8515	794	0～381	381
60	1611	2184	2958	4868	4076	5354	5419	10245	960	0～457	457
70	1887	2556	3462	5692	4773	6264	6345	11975	1126	0～533	533
80	2163	2928	3966	6516	5470	7174	7271	13705	1292	0～610	610
90	2439	3300	4470	7340	6167	8084	8197	15435	1458	0～686	686
100	2715	3672	4974	8164	6864	8994	9123	17165	1624	0～762	762
120	3267	4416	5982	9812	8258	10814	10975	20625	1956	0～914	914
150	4095	5532	7494	12284	10349	13544	13753	25815	2454	0～1143	1143
200	5475	7392	10014	16404	13834	18094	18383	34465	3283	0～1524	1524
250	6855	9252	12534	20524	17319	22644	23013	43115		0～1905	
300	8235	11112	15054	24644	20804	27194	27643	51765		0～2286	
400	10995	14832	20094	32884	27774	36294	36903	69065		0～3048	
500	13755	18552	25134	41124	34744	45394	46163	86365		0～3810	
600	16515	22272	30174	49364	41714	54494	55423	103665		0～4572	

* A の値は、ズームレンズの特性により若干変動します。
* 投写距離が最短時は、ズームレンズの特性により、画像に若干の歪みが発生する場合があります。
* 垂直キーストン（台形歪）補正使用時は、所定の画面サイズより小さくなる方向で補正されます。
* 光出力は、投写距離が、最短時と最長時で変化いたします。

〇画面アスペクト比 4:3 時(標準レンズ/ET-DLE150 /DLE250/DLE350/DLE450/DLE055 の場合)　　（単位：mm）

投写画面サイズ（型）	投写距離(A)〔スクリーン～レンズ先端まで〕											設置可能な高さ範囲(E)〔スクリーン端～レンズセンターまで〕	
	ズームレンズ										固定焦点レンズ	ズームレンズ	固定焦点レンズ
	ET-DLE150 装着時		標準レンズ装着時		ET-DLE250 装着時		ET-DLE350 装着時		ET-DLE450 装着時		ET-DLE055 装着時		
	最短	最長	最短	最長	最短	最長	最短	最長	最短	最長			
50	1344	1967	1804	2400	2361	3777	3713	5681	5525	8912	808	0～381	381
60	1623	2370	2175	2890	2850	4548	4483	6844	6690	10754	979	0～457	457
70	1903	2773	2546	3380	3338	5319	5253	8007	7855	12596	1150	0～533	533
80	2183	3177	2917	3870	3826	6090	6023	9170	9020	14438	1322	0～610	610
90	2462	3580	3288	4360	4315	6861	6792	10333	10186	16280	1493	0～686	686
100	2742	3983	3659	4850	4803	7633	7562	11496	11351	18123	1664	0～762	762
120	3301	4790	4401	5830	5779	9175	9101	13823	13681	21807	2006	0～914	914
150	4140	6000	5514	7300	7244	11489	11411	17312	17177	27333	2519	0～1143	1143
200	5537	8016	7369	9750	9686	15344	15259	23127	23004	36544	3375	0～1524	1524
250	6935	10033	9224	12200	12127	19200	19108	28943	28830	45755		0～1905	
300	8333	12049	11079	14650	14568	23056	22956	34758	34656	54966		0～2286	
400	11129	16082	14789	19550	19451	30768	30653	46389	46309	73387		0～3048	
500	13924	20115	18499	24450	24334	38480	38350	58020	57961	91809		0～3810	
600	16720	24148	22209	29350	29217	46192	46047	69651	69614	110231		0～4572	

＊ Ａの値は、ズームレンズの特性により若干変動します。
＊ 投写距離が最短時は、ズームレンズの特性により、画像に若干の歪みが発生する場合があります。
＊ 垂直キーストン（台形歪）補正使用時は、所定の画面サイズより小さくなる方向で補正されます。
＊ 光出力は、投写距離が、最短時と最長時で変化いたします。

■投写レンズ別投写距離計算式

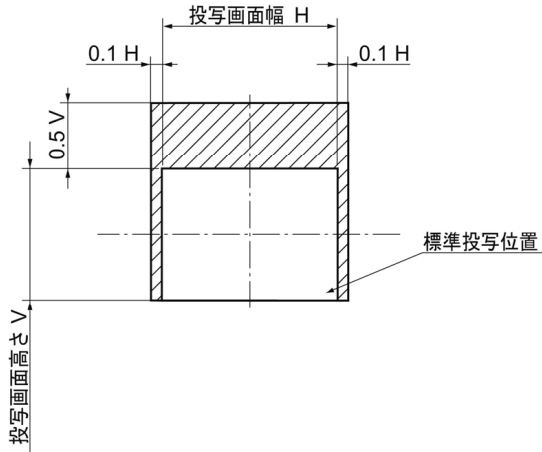
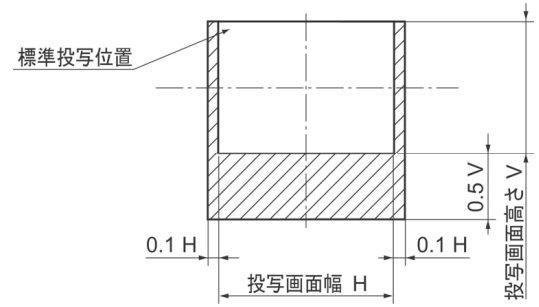
前ページ以外の画面サイズでご使用の場合は、下記計算式にて投写距離を求めてください。

〇画面アスペクト比 4:3 時

投写レンズ品番		投写距離(A)計算式	
ズームレンズ	ET-DLE100 装着時	最短	A(㎜)＝投写画面サイズ〔型〕×27.6-45
		最長	A(㎜)＝投写画面サイズ〔型〕×37.2-48
	ET-DLE150 装着時	最短	A(㎜)＝投写画面サイズ〔型〕×28.0-54.0
		最長	A(㎜)＝投写画面サイズ〔型〕×40.3-49.8
	標準レンズ装着時	最短	A(㎜)＝投写画面サイズ〔型〕×37.1-51
		最長	A(㎜)＝投写画面サイズ〔型〕×49.0-50
	ET-DLE200装着時	最短	A(㎜)＝投写画面サイズ〔型〕×50.4-66
		最長	A(㎜)＝投写画面サイズ〔型〕×82.4-76
	ET-DLE250装着時	最短	A(㎜)＝投写画面サイズ〔型〕×48.8-80.0
		最長	A(㎜)＝投写画面サイズ〔型〕×77.1-79.2
	ET-DLE310装着時	最短	A(㎜)＝投写画面サイズ〔型〕×69.7-106
		最長	A(㎜)＝投写画面サイズ〔型〕×91.0-106
	ET-DLE350装着時	最短	A(㎜)＝投写画面サイズ〔型〕×77.0-135.1
		最長	A(㎜)＝投写画面サイズ〔型〕×116.3-134.6
	ET-DLE410装着時	最短	A(㎜)＝投写画面サイズ〔型〕×92.6-137
		最長	A(㎜)＝投写画面サイズ〔型〕×173.0-135
	ET-DLE450装着時	最短	A(㎜)＝投写画面サイズ〔型〕×116.5-301.7
		最長	A(㎜)＝投写画面サイズ〔型〕×184.2-299.1
固定焦点レンズ	ET-DLE050装着時		A(㎜)＝投写画面サイズ〔型〕×16.6-36
	ET-DLE055装着時		A(㎜)＝投写画面サイズ〔型〕×17.1-47.6

＊上記の計算式で求められる値には若干の誤差があります。

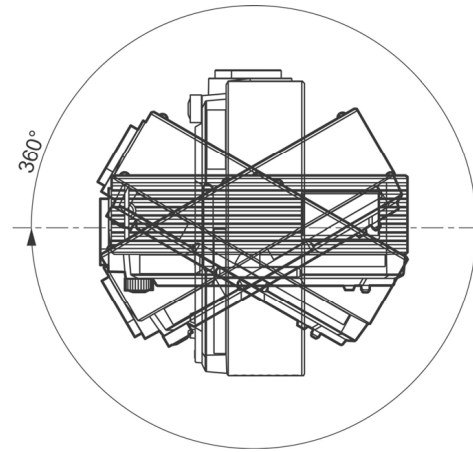
■光軸シフト調整可能範囲

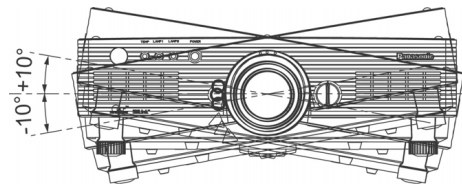
光軸シフト機能により、標準投写位置を基準に下図の範囲で投写位置を調整できます。

〇床置き設置時　　　　〇天つり設置時

＊ET-DLE050/DLE055 は固定短焦点レンズにつき、光軸シフト機能を使用できません。

■設置可能角度

下図の範囲内の角度で、設置してください。

〇垂直方向

360°傾け可能です。

〇水平方向

プラスマイナス 10°まで傾け可能です。

■対応信号リスト

本機に入力できる信号は下表の通りです。水平走査周波数=15 kHz～91 kHz、垂直走査周波数=50 Hz～85 Hz、ドットクロック周波数= 150 MHz 以下の範囲で入力が可能です。

＊本機の表示ドット数は 1024 ドット×768 ドットです。入力信号の解像度が本機の表示ドット数と異なる場合は、画像圧縮伸張処理により本機の表示ドット数内で表示できるように変換します。

表示モード	解像度※1	水平走査周波数(kHz)	垂直走査周波数(Hz)	ﾄﾞｯﾄｸﾛｯｸ周波数(MHz)	画質※2	フォーマット
NTSC/NTSC4.43/PAL-M/PAL60	720 ﾄﾞｯﾄ×480i ﾄﾞｯﾄ	15.7	59.9	-	A	ビデオ/Sビデオ
PAL/PAL-N/SECAM	720 ﾄﾞｯﾄ×576i ﾄﾞｯﾄ	15.6	50.0	-	A	
480i(525i)	720 ﾄﾞｯﾄ×480i ﾄﾞｯﾄ	15.7	59.9	13.5	A	Y・P_B・P_R/RGB
576i(625i)	720 ﾄﾞｯﾄ×576i ﾄﾞｯﾄ	15.6	50.0	13.5	A	
480p(525p)	720 ﾄﾞｯﾄ×483 ﾄﾞｯﾄ	31.5	59.9	27.0	A	Y・P_B・P_R /RGB/DVI
576p(625p)	720 ﾄﾞｯﾄ×576 ﾄﾞｯﾄ	31.3	50.0	27.0	A	
720/60p	1280 ﾄﾞｯﾄ×720 ﾄﾞｯﾄ	45.0	60.0	74.3	A	
720/50p	1280 ﾄﾞｯﾄ×720 ﾄﾞｯﾄ	37.5	50.0	74.3	A	
1080/60i	1920 ﾄﾞｯﾄ×1080i ﾄﾞｯﾄ	33.8	60.0	74.3	A	
1080/50i	1920 ﾄﾞｯﾄ×1080i ﾄﾞｯﾄ	28.1	50.0	74.3	A	
1080/60p	1920 ﾄﾞｯﾄ×1080 ﾄﾞｯﾄ	67.5	60.0	148.5	A	
1080/50p	1920 ﾄﾞｯﾄ×1080 ﾄﾞｯﾄ	56.3	50.0	148.5	A	
VGA400	640 ﾄﾞｯﾄ×400 ﾄﾞｯﾄ	31.5	70.1	25.2	A	RGB
		37.9	85.1	31.5	A	
VGA480	640 ﾄﾞｯﾄ×480 ﾄﾞｯﾄ	31.5	59.9	25.2	A	RGB/DVI
		35.0	66.7	30.2	A	RGB
		37.9	72.8	31.5	A	
		37.5	75.0	31.5	A	
		43.3	85.0	36.0	A	
SVGA	800 ﾄﾞｯﾄ×600 ﾄﾞｯﾄ	35.2	56.3	36.0	A	
		37.9	60.3	40.0	A	RGB/DVI
		48.1	72.2	50.0	A	RGB
		46.9	75.0	49.5	A	
		53.7	85.1	56.3	A	
MAC16	832 ﾄﾞｯﾄ×624 ﾄﾞｯﾄ	49.7	74.6	57.3	A	
XGA	1024 ﾄﾞｯﾄ×768 ﾄﾞｯﾄ	39.6	50.0	51.9	AA	RGB/DVI
		48.4	60.0	65.0	AA	
		56.5	70.1	75.0	AA	
		60.0	75.0	78.8	AA	
		68.7	85.0	94.5	AA	
		35.5	87.0	44.9	AA	RGB
WXGA	1280 ﾄﾞｯﾄ×768 ﾄﾞｯﾄ	39.6	50.0	65.2	A	RGB/DVI
		47.7	60.0	80.1	A	
	1280 ﾄﾞｯﾄ×800 ﾄﾞｯﾄ	41.3	50.0	68.0	A	RGB
		49.7	59.8	83.5	A	
MXGA	1152 ﾄﾞｯﾄ×864 ﾄﾞｯﾄ	64.0	71.2	94.2	A	
		67.5	74.9	108.0	A	
		76.7	85.0	121.5	A	
MAC21	1152 ﾄﾞｯﾄ×870 ﾄﾞｯﾄ	68.7	75.1	100.0	A	
MSXGA	1280 ﾄﾞｯﾄ×960 ﾄﾞｯﾄ	60.0	60.0	108.0	A	
SXGA	1280 ﾄﾞｯﾄ×1024 ﾄﾞｯﾄ	64.0	60.0	108.0	A	RGB/DVI
		80.0	75.0	135.0	A	RGB
		91.1	85.0	157.5	A	
SXGA+	1400 ﾄﾞｯﾄ×1050 ﾄﾞｯﾄ	64.0	60.0	108.0	A	RGB/DVI
UXGA	1600 ﾄﾞｯﾄ×1200 ﾄﾞｯﾄ	75.0	60.0	162.0	A	RGB

※1 解像度中の“i”は、インターレース信号を示しています。

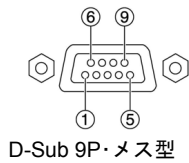
※2 画質の記号は、AA=最高の画質で投写、A=画像処理回路で変換して投写します。

■シリアル端子の使い方

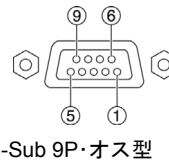
シリアル端子はRS-232C準拠です。パソコンで制御するためには通信ソフトを準備し、以下の通信条件、および基本フォーマットに基づいてデータ入力することにより制御可能です。

＜ピン配列と信号名＞

●シリアル入力端子

D-Sub 9P･メス型

ピン番号	信号名	内容
1	—	NC
2	TXD	送信データ
3	RXD	受信データ
4	—	内部で接続されています
5	GND	グランド
6	—	NC
7	CTS	内部で接続されています
8	RTS	
9	—	NC

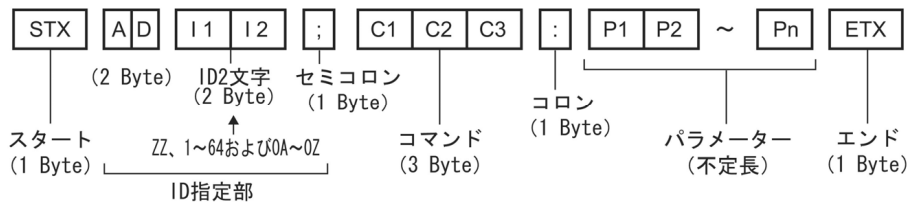
●シリアル出力端子

D-Sub 9P･オス型

ピン番号	信号名	内容
1	—	NC
2	RXD	受信データ
3	TXD	送信データ
4	—	内部で接続されています
5	GND	グランド
6	—	NC
7	RTS	内部で接続されています
8	CTS	
9	—	NC

＜工場出荷時の通信条件＞

信号レベル	RS-232C 準拠
同期方式	調歩同期
ボーレート	9600 bps
パリティ	なし
キャラクター長	8 ビット
ストップビット	1 ビット
X パラメーター	なし
Y パラメーター	なし

＜基本フォーマット＞

パソコンからの伝送はSTXで開始され、続いてID、コマンド、パラメーター、最後にETXの順に送信します。
パラメーターは制御内容の必要に応じて付加してください。

お願い
●ランプ点灯開始時、約10 秒～60 秒間はコマンドを送受信できない場合があります。60 秒経過後に送受信してください。
●複数のコマンドを送信する場合は、必ずプロジェクターからの応答を受け取ってから0.5 秒以上経過後に、次のコマンドを送信してください。
●プロジェクター内部の処理により、応答までに時間がかかる場合があります。
コマンドの応答までのタイムアウトは、10秒以上に設定してください。

＜通信ケーブルの仕様について＞

プロジェクター側			パソコン側（DTE 仕様）
1	NC	NC	1
2	―――	―――	2
3	―――	―――	3
4	NC	NC	4
5	―――	―――	5
6	NC	NC	6
7	―――	―――	7
8	―――	―――	8
9	NC	NC	9

＜制御・問い合わせコマンド＞

○制御コマンド一覧

コマンド：パラメーター	制御内容		プロジェクターからの返答
PON	スタンバイ電源	オン	PON
POF		オフ	POF
IIS:DVI	入力切り換え	DVI	IIS:DVI
IIS:RG1		RGB1	IIS:RG1
IIS:RG2		RGB2	IIS:RG2
IIS:VID		ビデオ	IIS:VID
IIS:SVD		Ｓビデオ	IIS:SVD
LPM:0	ランプ選択	デュアル（2灯）	LPM:0
LPM:1		シングル（1灯）	LPM:1
LPM:2		ランプ1	LPM:2
LPM:3		ランプ2	LPM:3
OSH:0	シャッター機能	オフ	OSH:0
OSH:1		オン	OSH:1
OFZ:0	フリーズ機能	オフ	OFZ:0
OFZ:1		オン	OFZ:1
OAS	オートセットアップ		OAS
VPM:NAT	映像モード	ナチュラル	VPM:NAT
VPM:STD		スタンダード	VPM:STD
VPM:DYN		ダイナミック	VPM:DYN
VPM:CIN		シネマ	VPM:CIN
VPM:GRA		グラフィック	VPM:GRA
VXX:DLVI0=+00000	システムディライトビュー機能	オフ	VXX:DLVI0=+00000
VXX:DLVI0=+00001		1	VXX:DLVI0=+00001
VXX:DLVI0=+00002		2	VXX:DLVI0=+00002
VXX:DLVI0=+00003		3	VXX:DLVI0=+00003
OTE:1	色温度設定	中	OTE:1
OTE:2		高	OTE:2
OTE:4		ユーザー	OTE:4
OTE:10		デフォルト	OTE:10
TSD:y1y2y3y4m1m2d1d2w	日付設定		TSD:y1y2y3y4m1m2d1d2w
TST:h1h2m1m2s1s2	時間設定		TST:h1h2m1m2s1s2
OOS:0	オンスクリーン	オフ	OOS:0
OOS:1		オン	OOS:1

＊ PON、POF、OSH、コマンドは、短時間で連続送信しないでください。
　光源ランプが破裂したり、交換サイクルが早くなる場合があります。

＊ スタンバイ中など実行できないコマンドを送信すると「ER401」というコマンドをプロジェクターから返信します。

○問い合わせコマンド一覧

ｺﾏﾝﾄﾞ:ﾊﾟﾗﾒｰﾀｰ	問い合わせ内容	プロジェクターからの返答	
QPW	スタンバイ電源の状態	000	オフ
		001	オン
QSH	シャッター機能の状態	0	オフ
		1	オン
QFZ	フリーズ機能の状態	0	オフ
		1	オン
QIN	入力チャンネル	DVI	DVI
		RG1	RGB1
		RG2	RGB2
		VID	ビデオ
		SVD	S ビデオ
QOS	オンスクリーン表示	0	オフ
		1	オン
QST	プロジェクター稼動時間	p1p2p3p4p5	00000 時間～99999 時間
Q$L:1	ランプ 1 点灯時間	p1p2p3p4	0000 時間～9999 時間
Q$L:2	ランプ 2 点灯時間	p1p2p3p4	0000 時間～9999 時間
QSL	ランプモード	0	デュアル(2灯)
		1	シングル(1灯)
		2	ランプ 1
		3	ランプ 2
QLP	ランプパワーモード	0	高
		1	低
QPM	映像モードの状態	NAT	「ナチュラル」モード
		STD	「スタンダード」モード
		DYN	「ダイナミック」モード
		CIN	「シネマ」モード
		GRA	「グラフィック」モード
QVX:DLVI0	システムディライトビュー機能の状態	DLVI0=+00000	オフ
		DLVI0=+00001	1
		DLVI0=+00002	2
		DLVI0=+00003	3
QTM:0	温度状態問い合わせ	p1p2p3p4/p5p6p7p8	p0=吸気
QTM:1		(摂氏/華氏)	p1=排気
QTM:2			p2= DLP®ﾁｯﾌﾟ
QGD	日付の問い合わせ	y1y2y3y4 m1m2d1d2w	年(y)月(m)日(d)曜日(w) 曜日：月曜=1,火曜=2,…,日曜=7
QGT	時刻の問い合わせ	h1h2m1m2s1s2	時(h)分(m)秒(s)

＊誤ったコマンドを送信すると、「ER401」または「ER402」というコマンドをプロジェクターから返信します。

［送信例］
オンスクリーンをオフにしたい場合

＊パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合は、コロン(：)は必要ありません。

■設置運用時の留意点

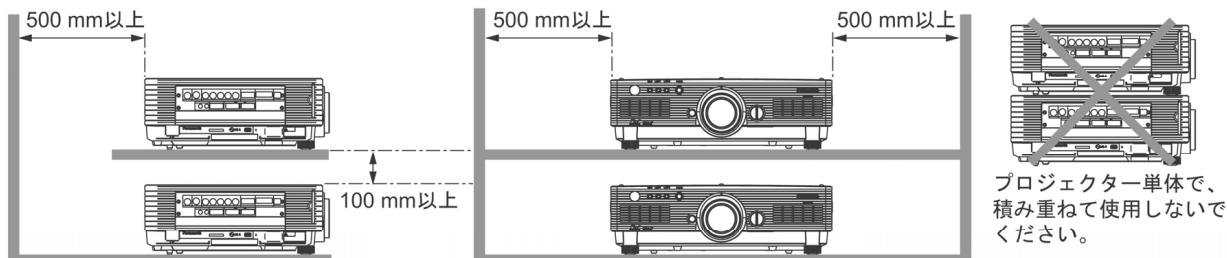
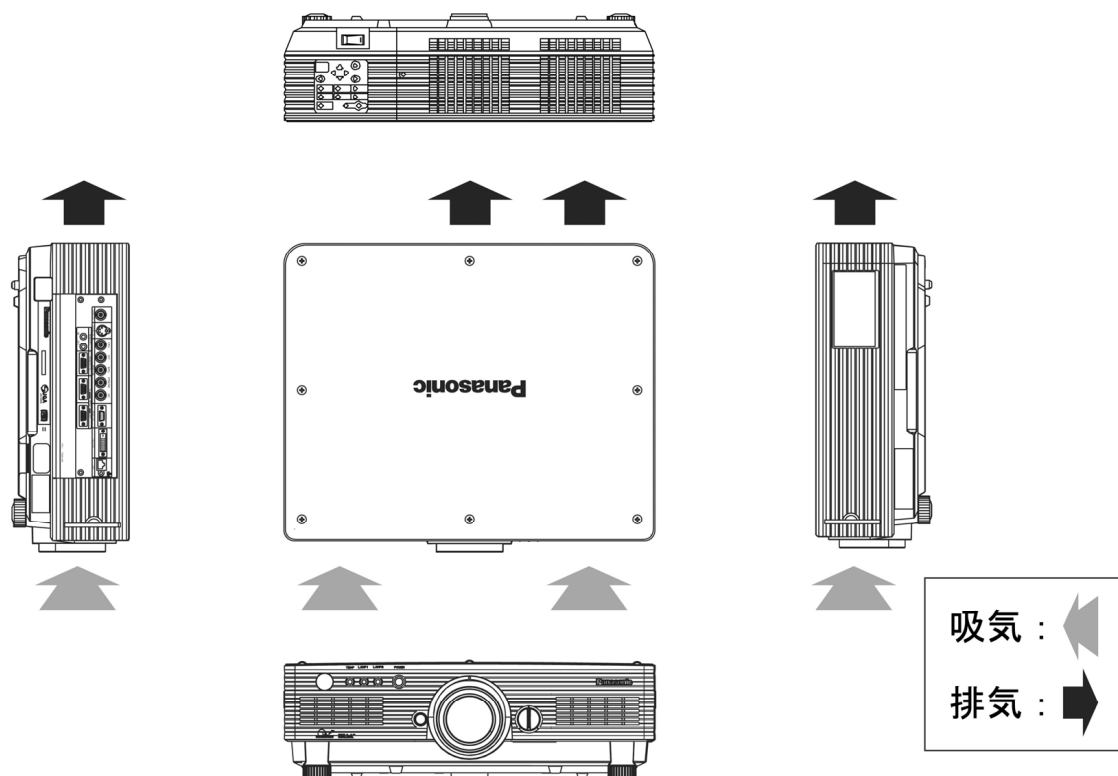
プロジェクターにはハイワッテージのランプを使用しており、高温になります。以下にご注意ください。

①運転中にプロジェクターの上へ物を置かないでください。

②プロジェクターの排気口付近は 500 mm 以上のスペースを確保してください。

③プロジェクター単体を積み重ねたスタック投写は行わないでください。
積み重ねて使用する場合は下記のスペースを確保してください。
どちらか 1 台を運転し、バックアップ用として積み重ねて設置する場合も、同様のスペースを確保してください。

④プロジェクターをボックスに入れて運用する場合、運転状態でボックス内の周囲温度が 0 ℃～40 ℃の範囲内になるようにしてください。また、排気口、吸気口を塞がないようにしてください。周囲温度が 40 ℃以下の場合でも、排気熱が内部に滞留することにより、プロジェクターの保護回路が働きシャットダウンする場合があります。周囲温度環境については、設計時に十分な考慮をお願いいたします。

プロジェクター単体で、
積み重ねて使用しないでください。

■吸気・排気の方向

■使用時間について

①24 時間連続使用される場合は、ランプリレーモードで、ご使用ください。
2 灯モードでは 24 時間連続使用できません。
22 時間以上使用する場合は、1 灯のランプに対して、最低限 1 日 2 時間程度の休止時間を設定してください。

②短時間の使用を繰り返される場合、光源ランプの交換サイクルが早くなります。